

臨時休業実施の判断のめやす

	対応	めやす
1	学級閉鎖	<ul style="list-style-type: none">・学級において感染者等が複数確認される等、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合は、週休日等を含め3～5日間学級閉鎖を実施する。 ※ただし、感染経路が家庭内感染など、校内感染でないことが明らかな場合は除く。・当該学級内で新たな陽性者等が複数発生した場合等には、期間の延長も検討する。・学級内での感染拡大の恐れがないことが確認できた場合には、期間を短縮することも可能とする。
2	学年閉鎖	<ul style="list-style-type: none">・複数の学級を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合は、週休日等を含め3～5日間学年閉鎖を実施する。
3	学校全体 臨時休業	<ul style="list-style-type: none">・複数の学年を閉鎖するなど、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合は、週休日等を含め3～5日間学校全体の臨時休業を実施する。

※陽性者の所属学級や人数等を踏まえ、必要に応じて学校医の助言を参考に判断する。